

総務委員会研修報告

十月二十五日、二十六日、議会改革とゴミ処理施設を研修。

東京都羽村市議会では効率的で簡素な議会運営、市民にわかりやすく議会構造及び制度の改革など広範囲にわたって逐次具体的な取り組みがされていました。また、ゴミ処理施設は、山梨県のまるたの森グリーンセンターを視察。同施設は焼却処理能力百四t（二十四時間×二炉）と灰溶融設備（十三t×二十四時間）

それに資源の再循環利用を行うためリサイクルプラザ併設し、最新の設備による公害防止と環境保全に努めた安全でクリーンな施設であつた。

一方で運営管理費などに毎年多額の経費負担となつてゐる。特に広域による施設で場所の決定までには相当な苦労をした



▲議会改革の研修 (東京都羽村市)

とのこと、今小城市は多久市との広域での施設建設に取り組みをしていく。建設費はもちろん維持管理を含め、効率性、経済性を考慮した施設の建設が望まれる。

最後にこの研修を議会活動に生かし、小城市的発展に努めていきたい。

意見書一件、陳情書三件が提出され、十二月議会の最終日、意見書について審議しました。

意見・陳情書

意見書

「最低保障年金制度の創設を求める意見書」に

ついて、国保税の未納者と納付者に不平等が生じるなどの意見が出され、賛成一名のみで、不採択となりました。

産業経済委員会研修報告

十月二十五日から二十

七日の日程で農業振興策として、地産地消、農業サポートの取り組みに

ついては仙台市、蔵を活かした官民一体の街づくりが進んでいる岩手県奥州市江刺商工会議所を視察した。仙台市は人口百万の大都市。消費者と生産者の相互理解を促進させる「地産地消」を手段とした仙台農業の振興が図られている。生産者の顔の見える販売促進のため情報の提供、発信、交流機会の創出、仙台地産地消フォーラム開催、地場農産物表示制度など地

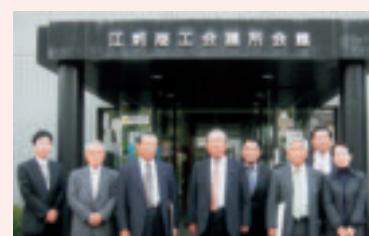
域での事業展開がなされている。農業サポート事業では都市農村交流として、農家は市民に農作物手伝いでサポートを受け、市民は農業に触れた。ながら多少の所得が得られる。サポートは「養成講座」の終了生（約八ヵ月の研修）に限られる。

江刺商工会議所では、近年中心商店街は郊外型大型店舗の進出、ロードサイドショップの充実などによる客離れや中心商店街の空洞化で空店舗が目立っている。そこで市内の若手経営者が立ち上がり街づくり会社「K

K黒船」を設立し、都市計画事業による市街地再構築を図る中、歴史的貴重な財産である「蔵」に着目し提言や活動を行い、「蔵」を活かした街の再生に向け本格的な取り組みが始められた。小城市には、農林水産、商工、飲食、サービス産業がありこの研修を議会活動に活かしたい。

域での事業展開がなされている。農業サポート事業では都市農村交流として、農家は市民に農作物手伝いでサポートを受け、市民は農業に触れた。ながら多少の所得が得られる。サポートは「養成講座」の終了生（約八ヵ月の研修）に限られる。

江刺商工会議所では、近年中心商店街は郊外型大型店舗の進出、ロードサイドショップの充実などによる客離れや中心商店街の空洞化で空店舗が目立っている。そこで市内の若手経営者が立ち上がり街づくり会社「K



▲まちづくりについて研修 (岩手県奥州市)

編集後記

十一月議会は、二十六名中二十二名が発言した。限られた財源での効率的な事業のチェックや提言など議論となつた。

ところで平成十九年度の政府の当初予算は、二年連続で地方交付金の減額。地方は財政難と減額で悲鳴を上げている。

住み良いまちづくりには、一定の財源は必要。効率的な事業のあり方など、チェック機能としての議会の動きが分かるよう、編集に努めたい。

（諸）

委員長 平野 泰造
副委員長 江島佐知子

委員 松尾 義幸
委員 諸泉 定次
委員 横渡 邦美
委員 香月チエミ

